

## 第1回流山市補助金等審議会会議録

- 1 開催日時 平成25年11月5日(火) 午後3時から
- 2 場 所 流山市役所第2庁舎第302会議室
- 3 出席委員 伊藤会長、山口副会長、柴委員、廣田委員、西村委員、前田委員、松本委員
- 4 欠席委員 なし
- 5 事務局 安井財政部次長兼財政調整課長、伊藤財政調整課長補佐、菅原副主査、古川臨時職員
- 6 傍聴者 なし
- 7 議 題
  - (1) 平成26年度予算における新規及び増額要求等のあった補助金等について(諮問)
  - (2) その他
- 8 配付資料
  - (1) 平成26年度補助金等予算要求状況一覧表
  - (2) 平成26年度予算要求補助金等件数 内訳
  - (3) 平成26年度予算要求補助金等審査対象表(案)
  - (4) ヒアリング日程(案)
    - ・補助金等調査票・補助金等適正化実行プラン(ヒアリング対象分)
    - ・補助金審査の判断基準(新規・増額の補助金審査)
    - ・今後の審議会開催日程(案)

開 議 15時00分

(事務局)

事務局職員の紹介。安井次長からの挨拶及び補助金等審議会への諮問について

(安井次長)

財政調整課の安井でございます。

本来ですと、市長がこの場でご挨拶をさせていただくべきところですが、本日は公

務の都合上、出席ができませんでした。また、財政部長におきましても、他の公務と重なり出席することができませんでした。この場をお借りして深くお詫び申し上げたいと思います。はなはだ僭越でございますが、市長に変わりました私から一言ご挨拶を申し上げます。

今年度、第1回目の補助金等審議会の開催に当たりまして、委員の皆様には大変お忙しい中ご参集いただきまして誠にありがとうございます。

皆様方には、平成23年度の3年に一度の全件の補助金を対象としたご審議から始まりまして、これまで平成24年度予算及び平成25年度予算要求に伴う補助金等に対しご審議いただき、非常に多くの貴重なご意見、ご指摘を答申書にまとめていただきました。私ども市といたしましても、頂戴した答申書を真摯に受け止め、予算編成作業に向けまして、審議会からのご指摘について改善を図るよう検討し、平成25年度当初予算に反映することが出来たものと認識しております。今年度は、全件審査から3年目を迎える年であり、個別審査でのご審議の最終年になるかと思っております。このため、今回も昨年度に続きまして、平成26年度当初予算で要望がある補助金のうち、市が単独で交付等を行う補助金のうち、新規補助金として要望のあったもの及び増額を予定しているもの。また、平成25年度の補助金で当初の補助金額等に補正予算において変更があったもののうち、市の一般財源の持ち出しが増加する補助金について、ここで併せて諮問させていただきまして、改めて答申を頂戴したいと考えております。

今年度も短い期間ではございますが、よろしくご審議賜りますようお願いを申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

それでは、諮問書の方を私から読み上げさせていただきます。

【安井次長、諮問書を読み上げ伊藤会長に手渡す】

【各委員に、諮問書の写しを配付】

(伊藤会長)

それでは諮問もいただきましたので、ただいまから、第1回流山市補助金等審議会を開催いたします。

委員、全員出席ですので、会議は成立しております。

なお、皆さんもご存知かと思いますが、「審議会等の会議の公開に関する指針」があり、今回は傍聴者が見えておりませんがいずれ見える可能性もあり、会議は原則公開となります。

それでは、議題に入りたいと思います。

只今のとおり、諮問がありましたので、本日は、今後の審議の進め方、内容を含めてと日程について中心に進めていきたいと思っております。

それでは、資料がありますので事務局から説明をお願いします。

(事務局)

現在、新年度の予算編成作業中でございます。予算要求がありました補助金につき

まして、皆様でご審議いただき、新年度の予算に反映させるものでございます。

新年度の予算要求につきましては、各課で昨年度までの答申結果を踏まえ行っているものでございます。例年、新年度予算に係るご審議については、国や県等から補助金交付が無い、いわゆる市単独の補助金のうち、さきほど次長から話しのありました、新規の補助金及び増額の補助金を審議の対象として資料を作成させていただきました。今回のご審議もこの枠組みでお願いしたいと考えております。

それでは、お手元に配付させていただきました資料につきまして、ご説明させていただきます。では、資料の確認をさせていただきます。

まず資料1で右上の方に書いてありますが、A3サイズで3枚ほどあります。次に資料2、横版の補助金の件数が書いてあるもの。それから、今回ご審議の対象として事務局で抽出させていただきました資料3。それから、ここでご了解いただければのヒアリング日程案の資料4。ここまで、私の方からご説明させていただきたいと思えます。

まず、資料1、A3横のものですが、平成25年度予算は、今回9月補正まで含めました。要求された補助金等事業をベースに、平成26年度の要求状況を表にまとめた一覧です。表中、左から補助金番号、担当課名、補助金等の名称。補助金等名のとなりの白三角と黒逆三角マークについては、平成25年度の9月補正予算後の予算額と平成26年度の予算要求との比較において、新規であったもの、増額になった事業については白三角、減額や要求のなかったものは黒逆三角で示させていただきます。このマークの隣が平成26年度の予算要求額、その隣の査定額については、担当の方が予算査定中ですので額は入っておりません。したがって、決定額につきましては要求額がそのままスライドで入っております。

次が平成25年度の当初予算額です。それから9月補正後で、数字が変わっていないものについては特に増減要素のないものです。

比較の欄になりますが、これは平成26年度要求額と平成25年度9月補正後の額を比較して増えているもの、場合によっては減っているものの金額を表示させていただいた欄になります。それから答申結果は昨年と同じですが、A評価、B評価、これにつきましては、各補助金単位で最新の結果、最新の評価を表示しております。ちなみに、備考欄に日付け入っておりますが、これについては、昨年度、答申を頂いたものになります。今回、表示の中でグレーに表示しているものについては、事務局で、今回審議の対象としていただくものとして、色分けしたものであります。表1については以上です。

資料2につきましては、平成26年度予算要求補助金等件数で資料1の補助金件数を数字でまとめさせてもらったものです。表中、下の合計欄を見ていただきますと、一般会計と特別会計を合計した状況になります。こちらで新規が2件、増額が21件、増減無で継続が77件、減額22件、この減額には、26年度ゼロ要求のものが積算されたものということになっています。ちなみに要求額がないものが6件でマイナス表示させてもらっており、合計122件となっています。この合計は新規、増額、増

減無、減額の件数を合計したものでございます。今日現在で、補助金にかかわる当初要求については122件になっております。これは、昨年12月25日答申いただいた時の126件に対し、4件減少となっております。

次に資料3を見ていただきまして、先ほどの資料1、A3の表をもとに単独で行われる補助金で、審議の対象として抽出させていただいたものです。上段が平成26年度予算要求補助金等審査対象表ということで、市単独補助金で審議対象は12件、内訳としましては、増額が10件、新規が2件となっております。下段の表ですが、これにつきましては、1件が先ほど次長の方からもありましたが、25年度の当初要求でご審議を頂きまして審議、答申もいただいております、コミュニティ課の自治会館建設費補助金でございます。ただ、9月補正で補助する額が増額されていることから、改めてご審議いただきたいということで抽出させていただきました。その下の環境政策課の地球温暖化対策奨励金、これは県の補助金がありますので、本来ですと3年に1度の審査ということでご審議の対象とはしていないものでございます。ただ、今回9月の補正の段階で増額の要望がございました。本来ですと増額したのものについても、補助金が補助率に対し満額来るとというのがセオリーなのですが、県の補助金枠がかなり少ないといえますか、場合によっては市が持ち出しをして交付するという可能性があるという話しも聞いています。県からの補助金が入ってこないという可能性があることから、審議の対象とさせていただきます。それぞれの詳細や増額をした理由、新たに補助金を交付しなければならない理由など、2件について必要があれば改めてヒアリングを行い、担当課からご説明させていただきたいと考えております。

次に資料4でございます。今回、審議の対象の補助金に対してご了承いただければ、担当課へのヒアリングを行う日程の案を提示させていただきました。1件当たり10分から15分のヒアリング日程を見ますと、開始時間を1時半からにして5時前後にはヒアリングの終了が可能かなということで、1日の日程にさせていただきました。

ここで、ご審議いただく補助金につきまして、資料3のとおりでよろしいかどうかご審議をいただければと思います。

(伊藤会長)

資料は皆さんに配られているということでよろしいでしょうか。私、ちょっと理解不足ですませんが、資料4のヒアリング日程について14件ということで皆さんに図るのですが、その前の資料3で上の段と下の段があって、上の段が12件、下の段が2件、合計14件。皆さん、資料に関してはよろしいでしょうか。

【全 員 了 承】

(伊藤会長)

これから、審議会資料の補助金と日程等について進めていきたいと思っております。まず、審議会資料の補助金14件についてヒアリングをして、審査の枠組みについては例年通りでよろしいでしょうか。

## 【全 員 了 承】

(伊藤会長)

それでは、14件を審議対象として従来通りの枠組みで進めます。

次に、日程案を見ていただくと、次の週の第2回審議会、12日の火曜日ということで、件数からしてこの位の時間を計算して、ヒアリングを1時半から5時までということによろしいでしょうか。

(西村委員)

勝手ながら12日はどうしても出席出来ないの、肝心なところで申し訳ないですが、欠席することをご容赦願いたい。

(伊藤会長)

はい、わかりました。

(松本委員)

資料1のところの審査対象が「1」と「2」とあるが、この意味を教えてください。

(事務局)

1番、2番について、資料3を見ていただくとお分かりになるのですが、1番につきましては、平成26年度の4億円に対するもので、新規があったり、増額があるものに1番をつけさせてもらいました。2番につきましては特殊なもので、25年度の補正予算で増額してあるもの、それと、県補助金がつくものなのに市費で賄う可能性があるということで区分けさせてもらいました。

(事務局)

補足をいたしますと、今までご審議をお願いしてきた補助金というのは、国や県の補助がない単独の補助金で、新規、増額ということをお願いしてきたのだと思います。1番は、いわゆる25年度と26年度を比較して、新規だったり増額であるものとして整理させていただきました。2番はそのくくりに入らない違うものとして、別のくくりをさせてもらっておりまして、コミュニティ課の自治会館建設費補助金につきましては、「補助金NO」のところには横棒が入っていると思いますが、これは25年度に予算要求がありましたが、26年度には予算要求がないという特殊なものです。なぜ、ここで審議をお願いするかといいますと、25年度当初予算でご審議いただいた金額が、25年度中に変更になったということで、ご審議をお願いするものです。次のページの56番、地球温暖化対策奨励金につきましては、本来、県の補助金が2分の1入ってまいりますので、補助金の審査対象外なのですが、これにつきましては、25年度の補正予算で市の単独事業になるかもしれないということでございますので、ご審議をお願いするものです。通常とは違うということで、1番と2番を区分けしたということなのでよろしくお願ひします。

(伊藤会長)

日程では11月半ばから始まり、12月下旬には答申書を市長に提出しなければな

らない。そこで、先ほど他の委員から欠席要請があった。1名欠員があることで、次の週にヒアリングを延ばしたりしたらスケジュールが過密になること。全員出席していなくても審議会は成立することで、日程案通りでよろしいか。

(松本委員)

それでやるしかない。

(伊藤会長)

皆さんの了解を得て、次回の火曜日、非常に重要なヒアリングを行うこととしたい。1件15分位として1時半から始まって1日で終わらせたい。

次に、今後の日程について進めていきたいが、審議会開催日程案では12月17日火曜日、市長答申が間近かなのですが、松本委員から当日避けられない理由で来られないという申し出があった。そこで案なのですが、2回と3回の間の11月19日火曜日の予備日を詰めて、第3回にすれば以下ずれていきますので、12月17日火曜日、松本委員が欠席しても、ここを予備日にすればいいという案もあるが、いかがなものか。ご意見があればお願いします。

(前田委員)

12月17日は答申が確定する日である。

(伊藤会長)

整理をすると、たしかに12月17日は重要な日である。

(松本委員)

用事が1週間くらいずれる可能性もあるので、日程通りやっていただいて結構です。

(伊藤会長)

100%の委員が参加していなくても会議は成立するので、前田委員のご指摘の通り、基本的にはここに配られた開催日程案で進めていくということによろしいですね。

#### 【全 員 了 承】

(伊藤会長)

次に、審査にあたっての基準や作業手順の見直しについて、見直しをする必要がないかどうか。たとえば、前回の同じ評価基準でよいか、「公益性」、「公平性」、「必要性」、「効果」、「適切性」の5点の判断基準に基づいて、総合評価でAからDの4段階で評価してきたと思いますが。

(事務局)

評価判断基準については、昨年度、第3回審議会の時にこういう形で決定をいただいております。

(前田委員)

前回、かなり議論をして4段階にしましたので、これを変える必要はないのではないかと。

(伊藤会長)

たしかに議論をしているので、AからDの4段階で進めていくということによろしいでしょうか。

【全 員 了 承】

(事務局)

確認をさせていただきます。

今後の開催日程につきましては、私どもの方から示させていただいております案のとおり、来週12日についてはヒアリング、再来週につきましては、評価点の整理ということで休み、それ以降については、ヒアリング結果について協議ということで進めていくような形にさせていただきます。万が一、来週行われますヒアリングの中で、どうしても時間が必要なものがありましたら、改めて19日に行うことが出来ますので、とりあえず、今は案のとおり進めさせていただきます。それから、ヒアリングの時まで評価点を整理するための表、「AからDまでコメントを入れるもの」、それにつきましては、データでお送りするようにしたいと思います。ヒアリングにつきましては、全部で6課14事業で、順番については、資料4で決めさせていただいています。今日会議が終わりましたら、最終的に各課へ通知させていただきます。なお、担当課の都合等により若干変更があるかもしれませんが、とりあえずこの順番で進めさせていただきます。事務局からの確認は以上です。

(伊藤会長)

委員の皆さん、何かあればお願いします。

(前田委員)

だいぶ前から、審議会開催にあたっての周知徹底をどうするかというのは、かなり議論がありまして、広報ながれやまで開催日を周知するのは難しいということで、インターネットで公表していましたが、今回、広報ながれやまに周知できるようになって、さらに、詳細はインターネットで見てくださいということになり、非常に良かったと思いました。

(事務局)

実際、市民の方から開催のお問い合わせがあったということで、今日は諮問なので、次回から参加したい。との申し出のあった方はありました。前々から、開催日の市民への周知についてはご指摘がございました。なかなか対応が出来なくて申し訳なかったんですが、前回のご指摘を踏まえまして、今後は始まる前に、大体の日程を載せていただきまして、審議会でお諮りいただいた後に、具体的な日程については、ホームページの方で出していくという形で整理していきたいと思います。できるだけ多くの方に審議の内容について、意見をいただければと考えておりますので、よろしくお願いします。

(伊藤会長)

まさに時代の要請でしょうがオープンになってきており、実際、具体的になってくることはよいことだと思います。とにかく大切なのはヒアリングです。来週火曜日12日、午後1時半から行います。会場については、後程、通知するというので。

(山口副会長)

次回、西村さんが欠席ということなので、これ以外に資料があれば早急に送付していただきたい。

(事務局)

当日ヒアリングの際に出てくる資料があれば、事務局から早急に送付させていただきます。

(事務局)

今日、保育課の方で資料を追加したいという話がありました。当日配付でいいのか確認したところ、事前に目を通していただければということなので、差支えなければ配らさせていただきます。

#### 【資料配付】

(事務局)

ご審議いただく実行プラン、とりあえず現状で出していただいたもので受け付けております。1件だけ私どもからの指示が徹底されていなかったのも申し訳なかったのですが、今回、この表の中身を変えました。まず、補助金名がある真ん中の名称欄に補助金の開始された時期を入れるようにさせていただきました。何年位やっているのかということで、実行プランからすぐに確認しなければいけないということで入れました。

その下2つ目、26年度予算要求額の右横に参考として今年度の予算確定額、その下に補正があった場合の補正後の確定額を参考に入れるようにさせていただきました。それで、25年度補正後確定額のところに、空欄もしくはその上の当初予算確定額と同額が入っているものがあります。これにつきましては、私からの指示が徹底しておりませんで、基本は空欄か上の数字と同額であれば、補正がなかったというものでございます。たとえば、補助金番号9番コミュニティ課で出している、防犯灯電気料金等補助金の平成25年度当初予算確定額56,117千円、下段の補正額に同額が入っております。といったものにつきましては補正をしていないということです。当初予算の額がそのまま入っているということでご確認いただければと思います。実際どういうことになるかといいますと、後ろから2枚目の自治会館建設費補助金、これもコミュニティ課ですが、これは特殊なものとして入れさせてもらいました。26年度当初予算の要求はございませんが、25年度当初予算確定額が10,000千円になりました。その下段の25年度補正の確定額11,900千円と出ておりますので、これは9月補正までの間に1,900千円増額をしました。ということで参考に

入れさせてもらいました。それと補助金番号でいいますと、49番、私立保育所整備費補助金、これにつきましては、平成25年度当初予算確定額、補正後確定額に数字が入っておりません。今回新規という形で、ここでご審議いただくものでございます。

(山口副会長)

なぜ、下の25年度見込みに数字が入るのか。

(事務局)

25年度の見込みのところは、これからご審議いただく中で、原課から現計予算で対応するという話が出てくると思います。これにつきましては、ヒアリングの中で詳細について説明させていただければと思います。

(伊藤会長)

以上で、質問はよろしいですか。

(前田委員)

この表をわかりやすく整理していただいたんですが、問題は担当課がヒアリングに出たときに、きちんと対応してもらうのがカギである。ヒアリングでとんちんかなことを言われても困るので、周知、徹底をお願いしたいと思う。

(伊藤会長)

原課での対応をきちんとやってもらうようお願いしたい。

本日の第1回補助金等審議会は、以上をもちまして終了とさせていただきます。

閉 議 15時53分

流山市補助金等審議会  
会長 伊藤 治夫